

安佐南区の現況と課題について

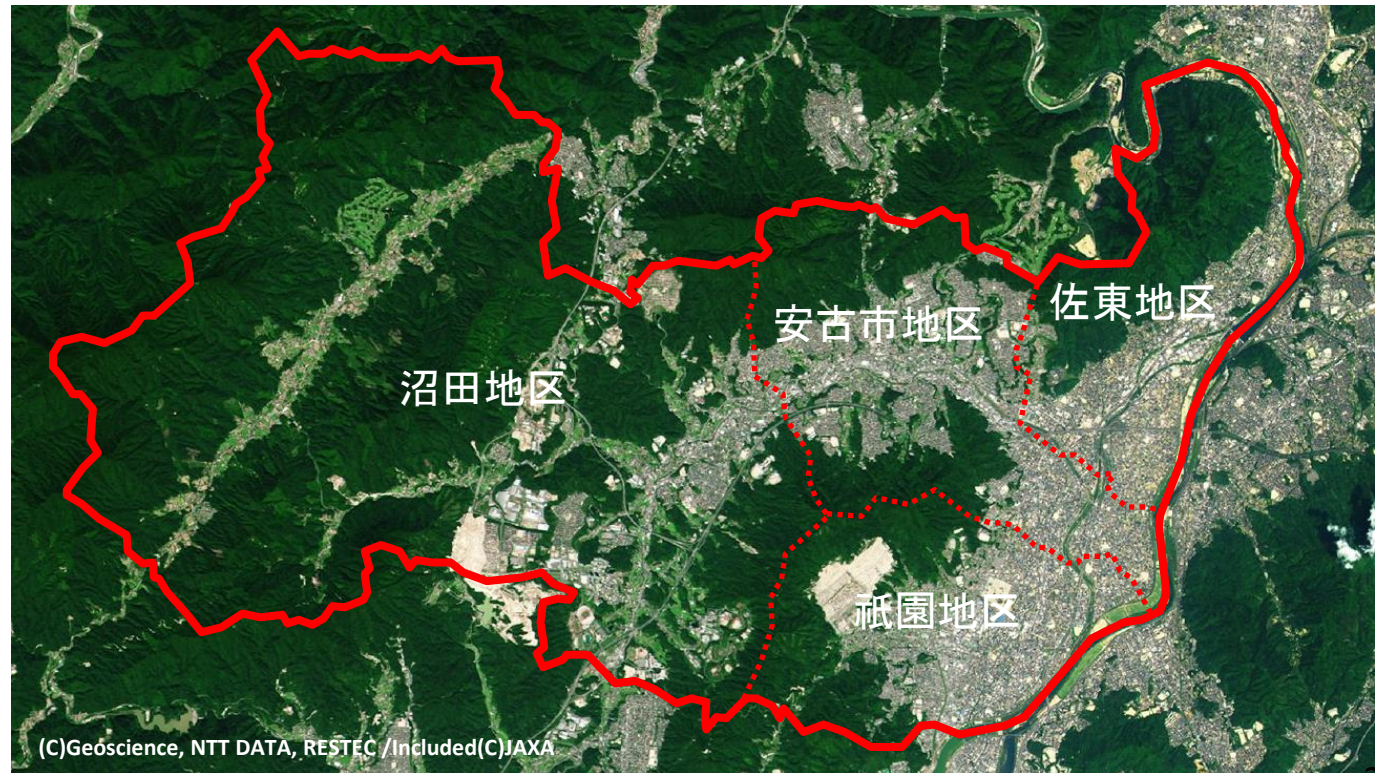
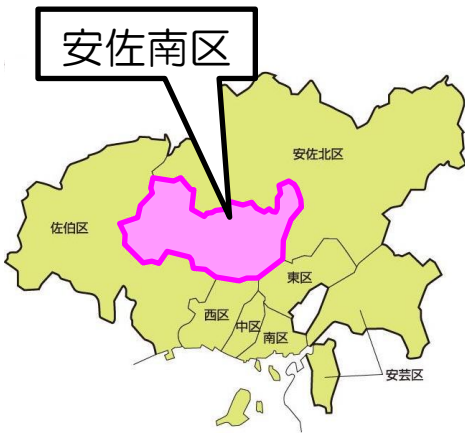


平成31年2月20日
安佐南区地域起こし推進課

安佐南区の位置、地形など

- 広島市のほぼ中央に位置する。
- 区域の面積は117.03 km²で、広島市で安佐北区、佐伯区に次いで広い。
- 山林面積は50.64 km²*あり、区の面積の43.3%を占めている。

※広島県農林水産局「林務関係行政資料」（2017年4月1日現在）、広島森林監督署聴き取り



(C)Geoscience, NTT DATA, RESTEC /Included(C)JAXA

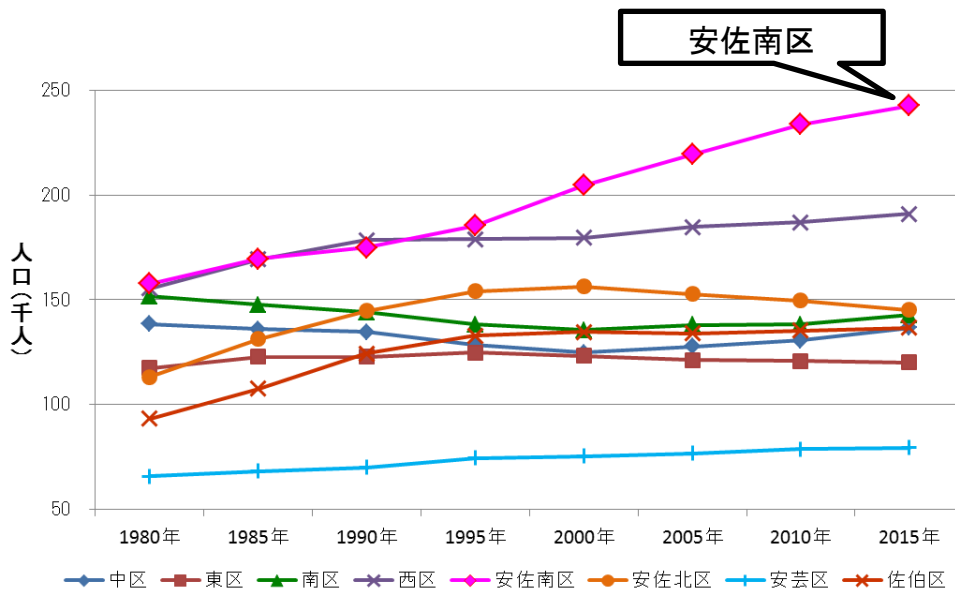
安佐南区の人口推移

●全8区で人口が最も多い

- ・2015年の人口は243,781人で、広島市の20.3%を占めている。

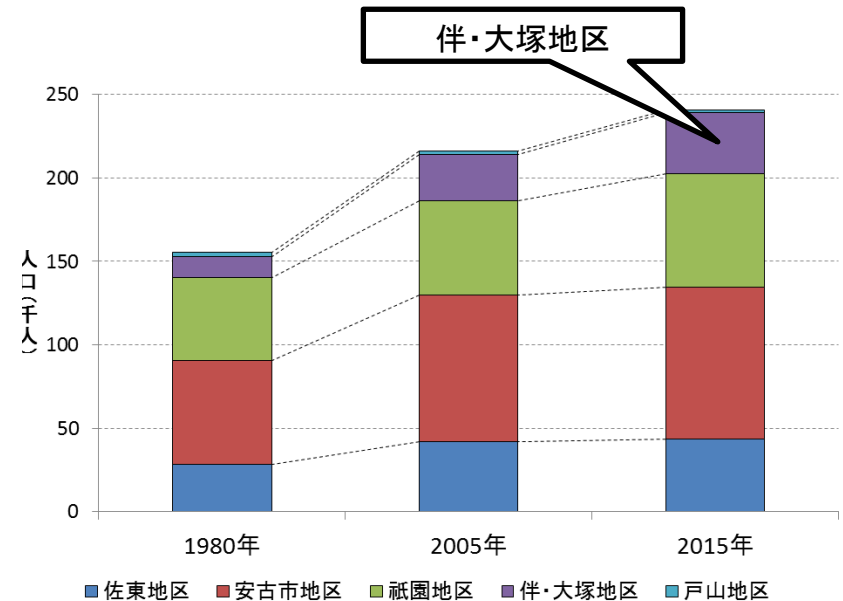
●人口が増加している

- ・戸山地区を除き、人口が増加している。特に、伴・大塚地区の増加率が高い。
(12,767人(1980年) → 36,459人(2015年) ⇒ 約3倍に増加)



人口の推移(国勢調査)

※佐伯区の1980年は、旧五日市町と旧湯来町の数値。
1980年から2000年は、旧湯来町を含む数値。



安佐南区内の地区別人口の推移
(広島市統計資料)

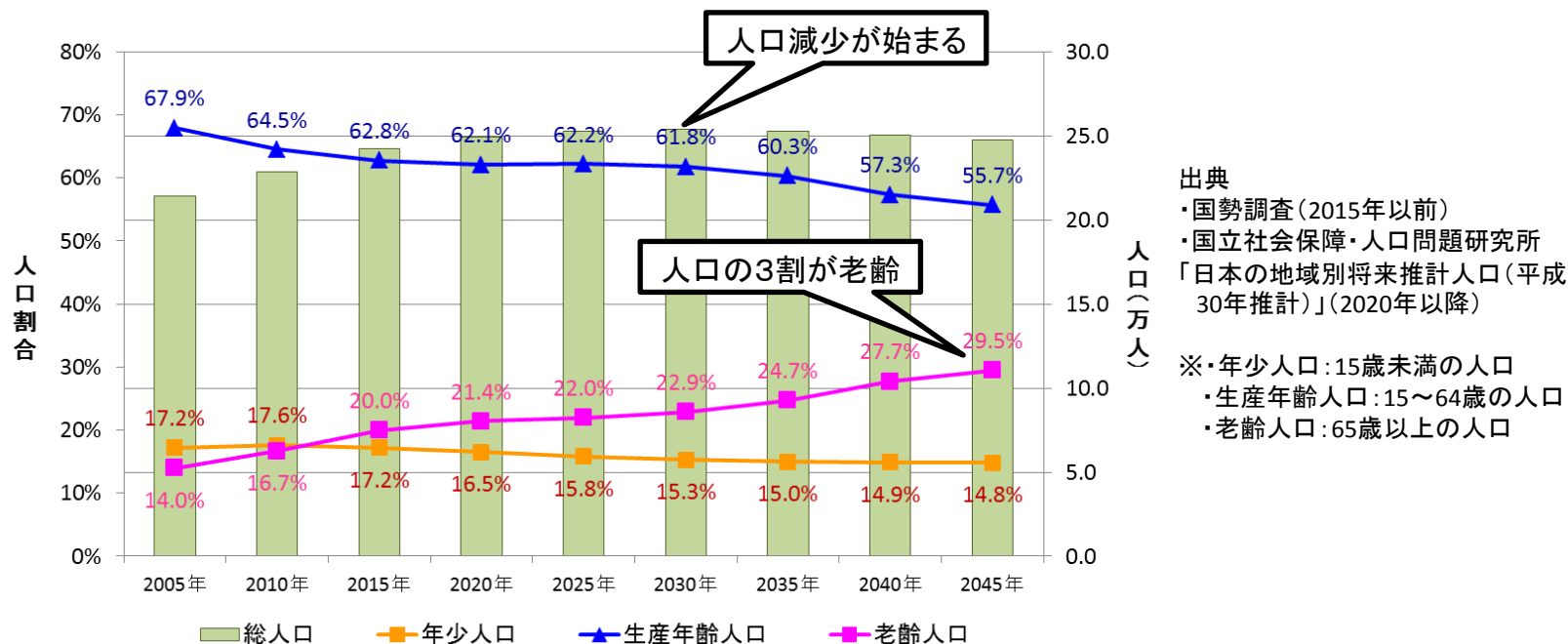
安佐南区の将来推計人口

●2030年以降は、安佐南区も人口減少する。

- ・2025年まで増加を続けるが、2030年以降は減少に転じる見込みである。

●今後も高齢化が進行する。

- ・2005年に14.0%であった高齢人口は、2015年に20.0%となっており、2045年には29.5%となる見込みである。

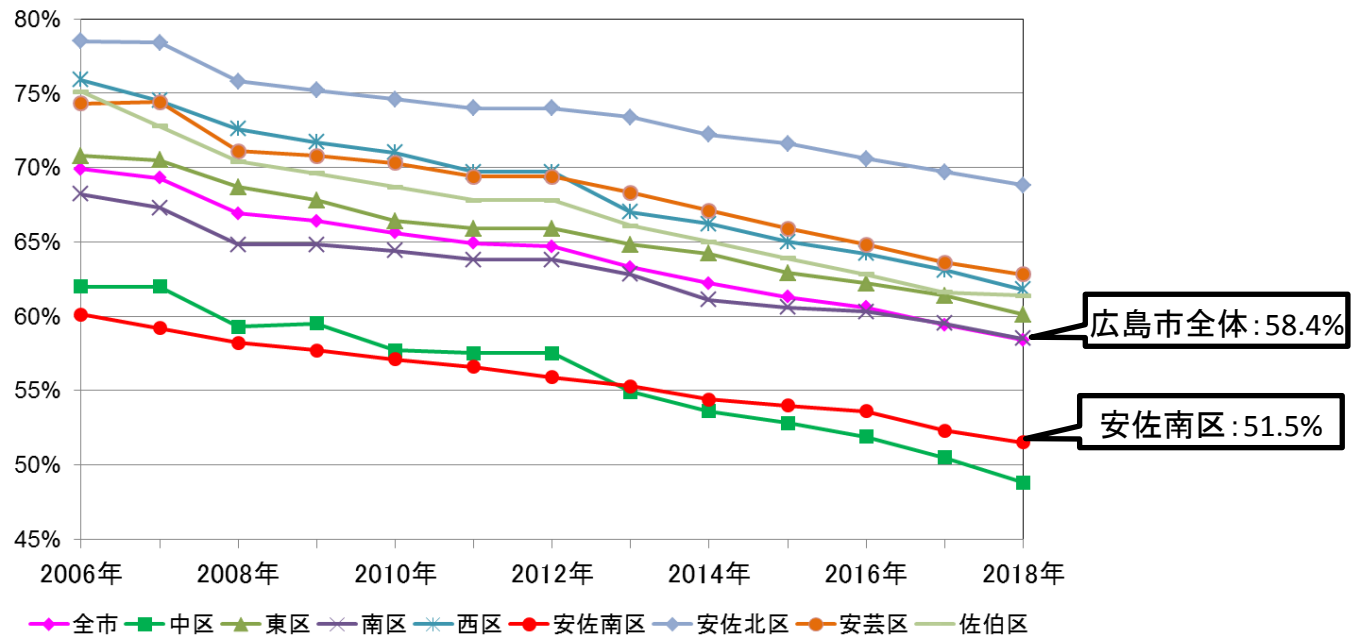


安佐南区の人口及び年齢階級別割合の将来推計

安佐南区の地域コミュニティの状況

●町内会・自治会への加入者が減り続けている。

- 2018年の町内会・自治会への加入率は51.5%で、広島市全体の平均の58.4%を大きく下回り、全8区で下から2番目の低さとなっている。

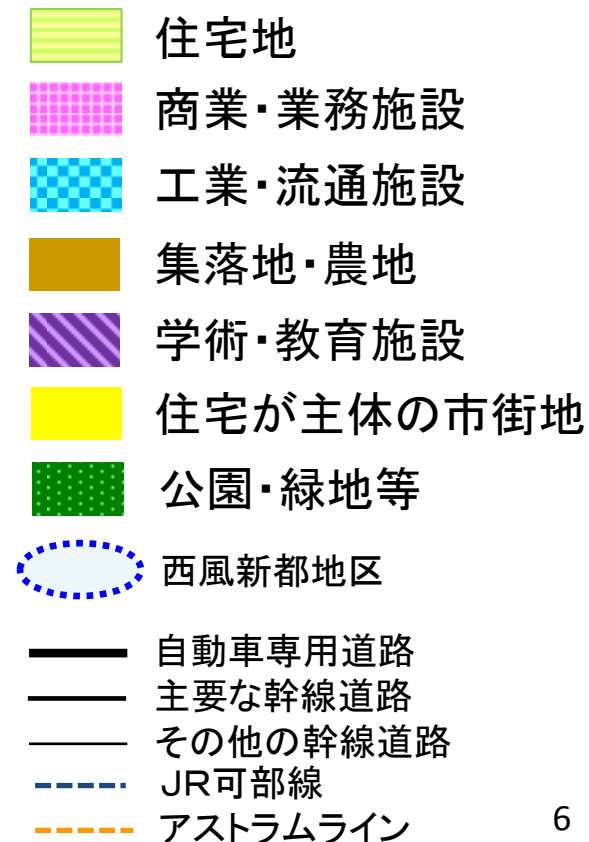
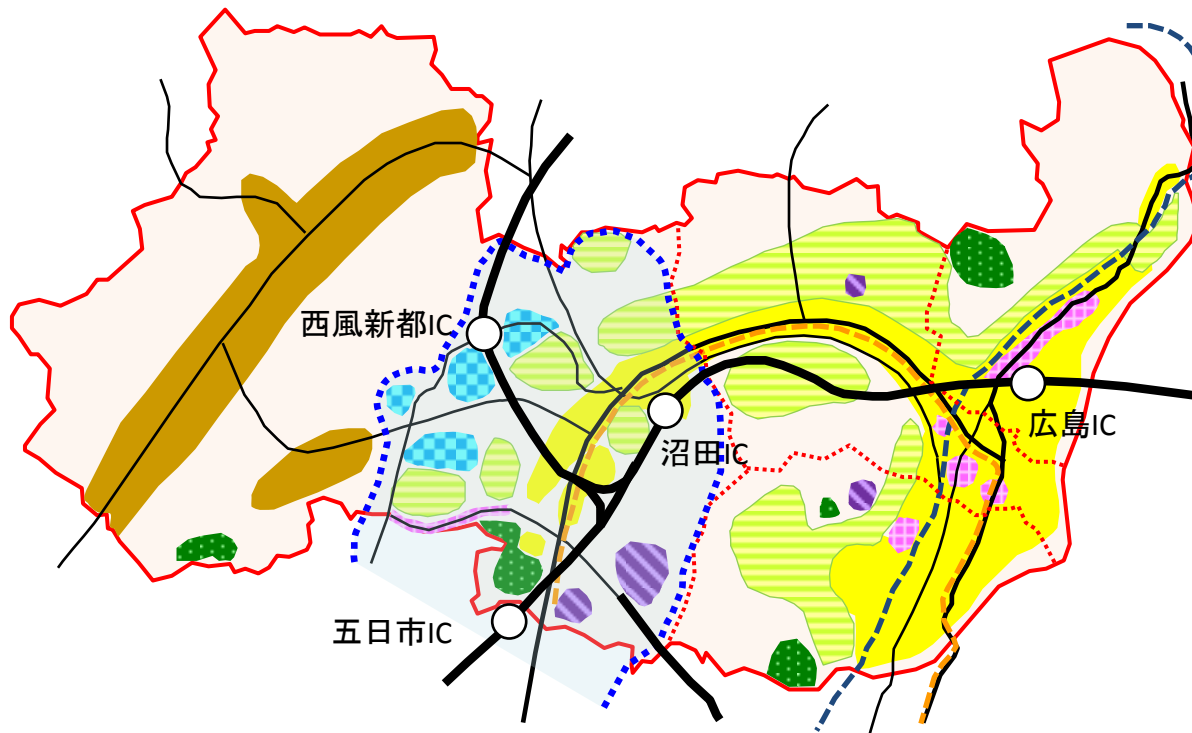


町内会・自治会への加入率

(資料: 市民活動推進課、7月1日現在の住民基本台帳世帯数に対する町内会・自治会加入世帯数の割合)

安佐南区の土地利用

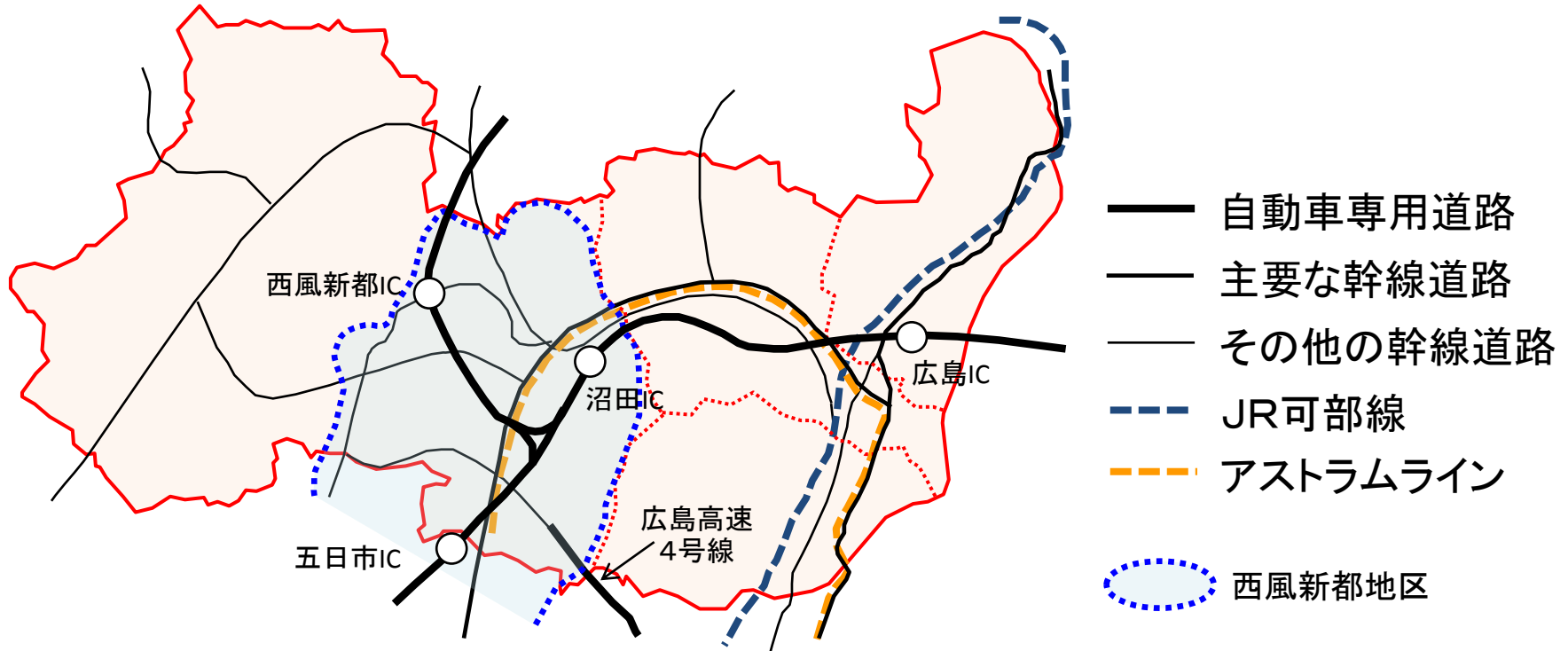
- 住宅地は、主に佐東地区、安古市地区、祇園地区の丘陵地に分布している。
- 商業・業務施設は、主に広島IC周辺に集中している。
- 工業・流通施設は、西風新都地区に集中している。
- 集落地・農地は沼田地区に分布しており、その多くは戸山地区に分布している。
- 各地に大学などの学術・教育施設が所在している。



安佐南区の土地利用

安佐南区の交通

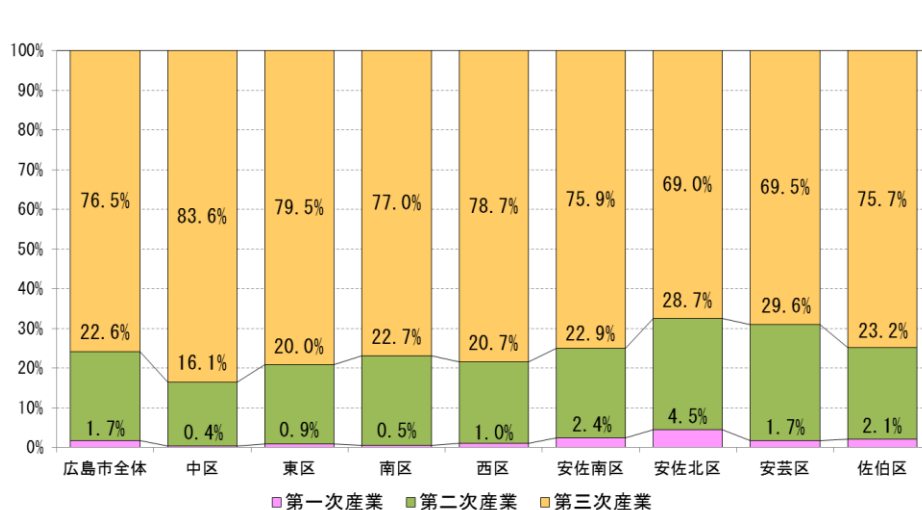
- 安佐南区内とその周辺に4つのインターチェンジがあり、広域的なアクセス性に優れている。また、国道54号、国道183号、広島高速4号線等により都心部と結ばれており、「広島市の北の玄関口」といえる。
- 軌道系の公共交通機関（JR可部線、アストラムライン）により都心方面と結ばれており、利便性が高い。



安佐南区の交通

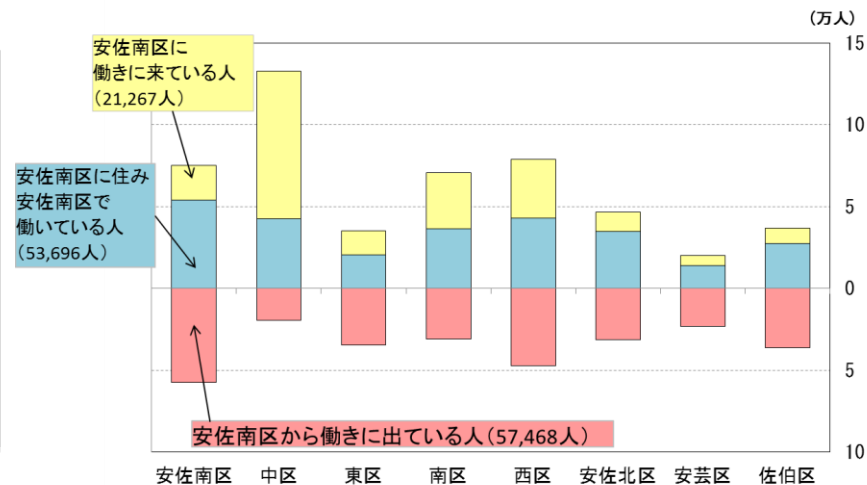
安佐南区の産業構成と就業状況

- 第一次産業（農林水産業）に従事している人の割合が比較的高い。
 - ・ 安佐南区内の第一次産業に従事している人の割合は2.4%で、安佐北区の4.5%に次いで高い。
- 安佐南区に住んでいる就業者の半数以上が、安佐南区以外で働いている。
 - ・ 安佐南区に住んでいる就業者（111,164人）のうち、51.7%（57,468人）が安佐南区から出て働きに出ている。



産業別の割合

(2015年国勢調査、分類不能を含んでいるため構成比の合計が100%にならない。)



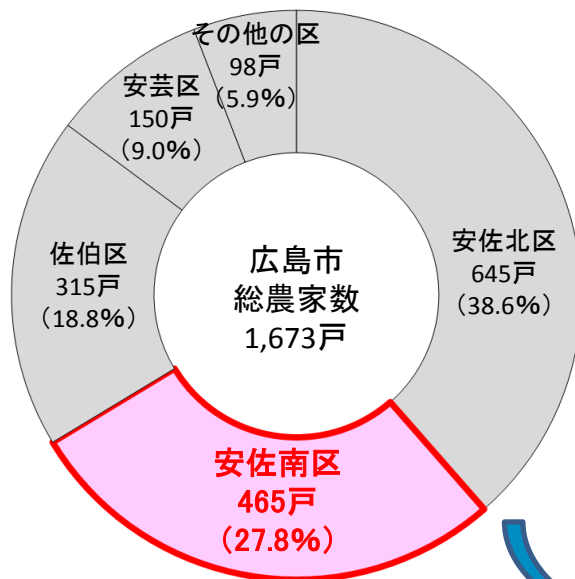
就業者の状況

(2015年国勢調査)

安佐南区の農業①

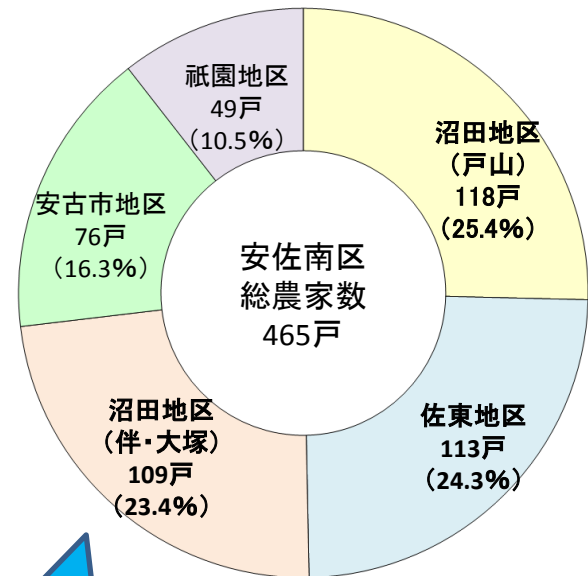
●沼田地区、佐東地区は農業が盛んである。

- 安佐南区内の農家数は465戸で、広島市の27.8%を占める。
- 地区別の農家数を見ると、沼田地区227戸（戸山118戸、伴・大塚109戸）、佐東地区113戸となり、両地区で安佐南区の73.1%を占める。



広島市の農家数の内訳

(2015年農林業センサス)



安佐南区の農家数の内訳

(2015年農林業センサス)

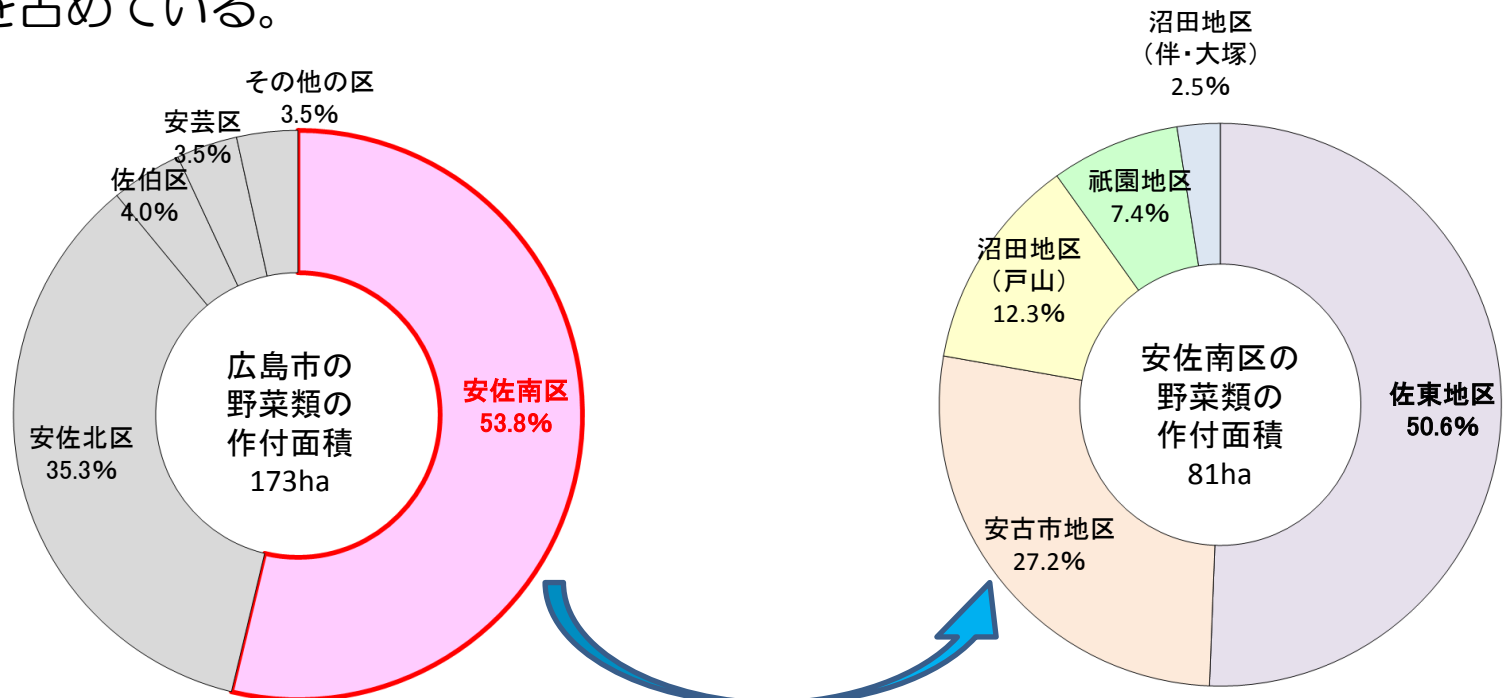
安佐南区の農業②

●安佐南区は野菜類の栽培が盛んである。

- 安佐南区の野菜類の作付面積は、広島市の53.8%を占めている。

●野菜類の栽培は、佐東地区が盛んである。

- 広島菜の産地である佐東地区の野菜類の作付面積は、安佐南区の50.6%を占めている。



野菜類の作付面積(2015年農林業センサス)

※図中の作付面積及び割合は、秘匿措置外の値を使用して算出している。

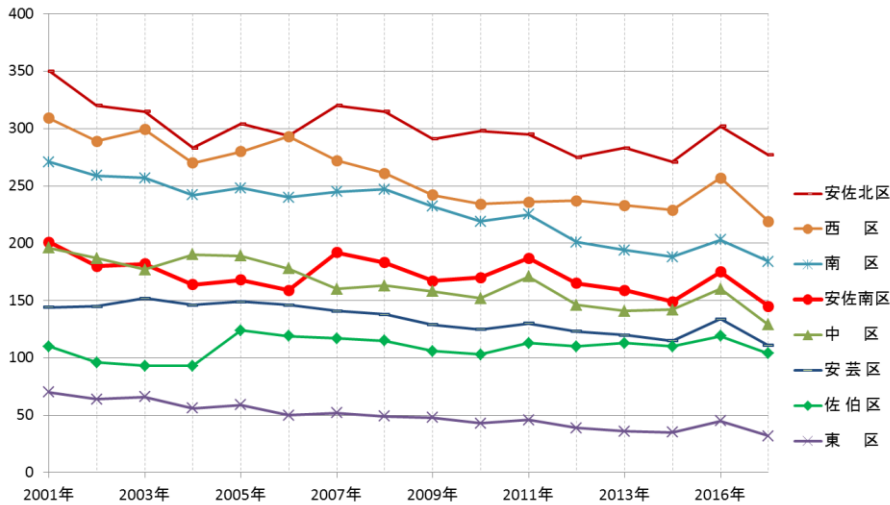
安佐南区の工業

●安佐南区の製造業は縮小傾向にある。

- 事業所数は145で、広島市全体の12.1%を占める。
- 製造品出荷額は881億円で、広島市全体の2.9%を占める。

●安佐南区では、生産用機械器具を主に製造している。

- 製造業出荷額の31.7%を生産用機械器具が占めている。



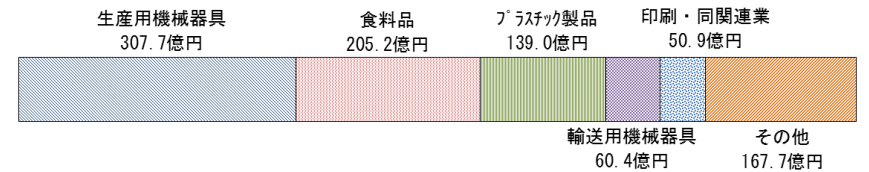
各区の事業所数の推移

(各年工業統計調査、従業員4人以上の事業所)



各区の製造品出荷額の割合

(2017年工業統計調査、従業員4人以上の事業所)



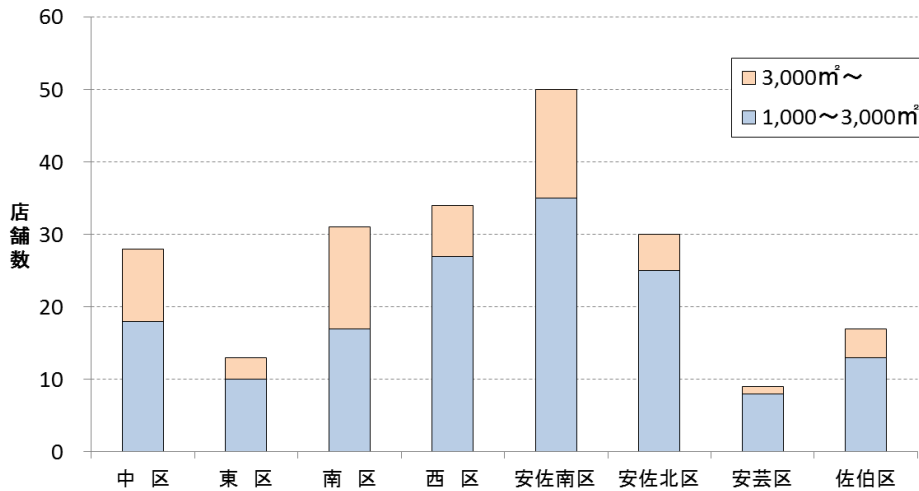
安佐南区の製造品出荷額の割合

(2016年経済センサス、従業員4人以上の事業所)

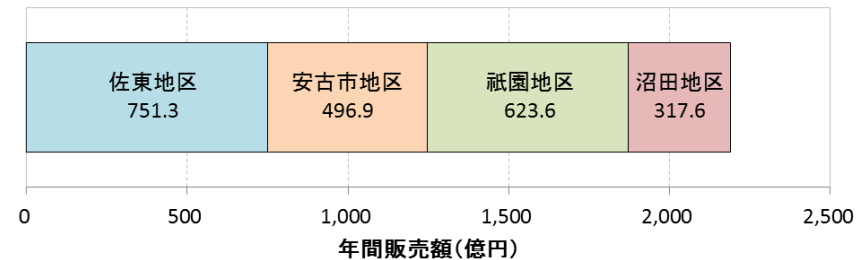
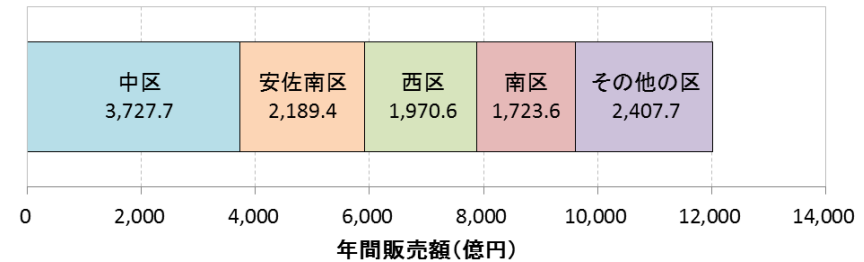
安佐南区の商業

●安佐南区は大規模店舗が多い。

- 大規模小売店舗立地法に基づき、広島市への届出が必要となる店舗面積が1,000㎡以上の店舗数は、安佐南区が最も多く、50店舗が所在する。
- 安佐南区の小売業の年間販売額は、中区に次いで多い。
- 安佐南区内の小売業の地区別年間販売額は、広島IC周辺に大規模店舗が集積している佐東地区が最も多い。



各区の大規模店舗数 (2014年商業統計調査)



小売業の年間販売額

(上図: 広島市全体、下図: 安佐南区内)

(2014年商業統計調査)

安佐南区内の大学

●安佐南区は大学・短期大学が多く立地している。

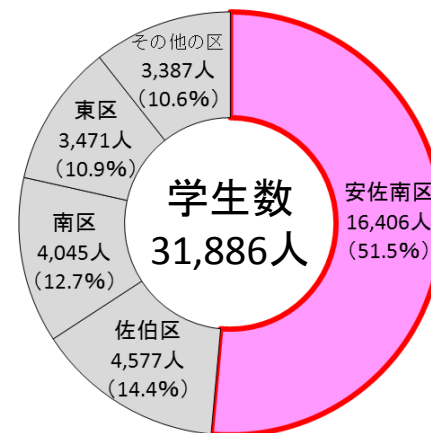
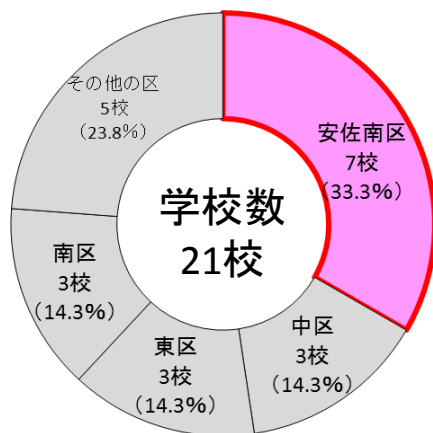
- ・市内の大学・短期大学のうち33.3%（7校）が立地し、市内の学生の51.5%（16,406人）が在籍している。

学校名	学部数	学生数	学校名	学部数	学生数
広島市総数	54	31,886	安佐南区合計	21	16,406
短期大学(5校)	11	1,693	広島文化学園短期大学	3	483
大学(16校)	43	30,193	安田女子短期大学	1	304
中区合計	4	1,119	広島市立大学	3	1,770
エリザベド音楽大学	1	264	広島経済大学	1	2,813
広島国際大学	1	360	広島修道大学	5	6,121
広島大学(夜間)	2	495	広島文化学園大学	1	475
東区合計	9	3,471	安田女子大学	7	4,440
比治山大学短期大学部	3	572	安佐北区合計	1	1,222
比治山大学	2	1,488	広島文教女子大学	1	1,222
広島女学院大学	4	1,411	安芸区合計	5	859
南区合計	7	4,045	広島国際学院大学自動車短期大学部	1	147
広島都市学園大学	2	987	広島国際学院大学	4	712
県立広島大学	2	978	佐伯区合計	4	4,577
広島大学(医歯学系)	3	2,080	広島工業大学	4	4,577
西区合計	3	187			
鈴峯女子短期大学	3	187			

広島市内の大学・短期大学の状況

(2016年 広島市統計資料)

- ※広島大学は、中区・南区をそれぞれ1校として計上している。
- ※鈴峯女子短期大学は、2017年に閉校された。



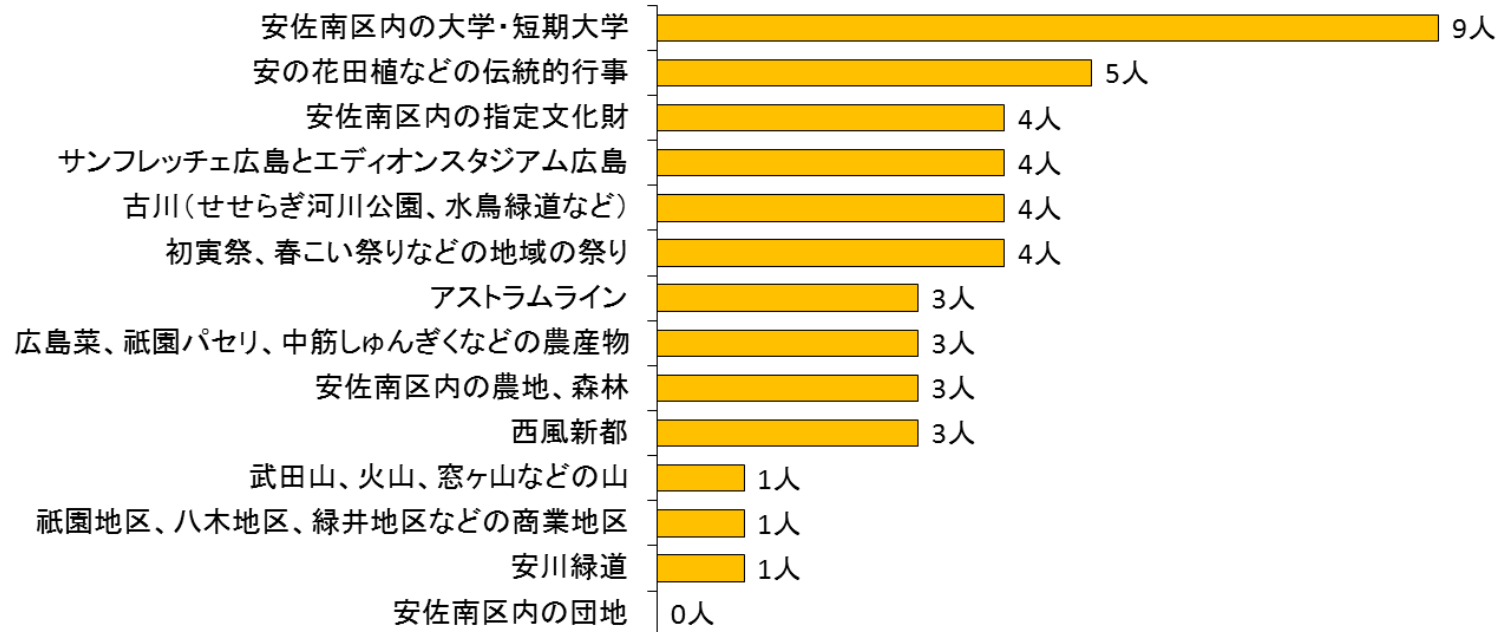
事前アンケート結果



問1 活用が望まれる安佐南区の地域資源

- 1 皆様が、魅力あるまちづくりに活用したらよいと思う安佐南区の地域資源についてお教えてください。
つきましては、次の中から当てはまるものを3つお選びいただき、その番号を「○」でお囲みください。
- 1 毘沙門天の初寅祭、八木梅林公園の春こい祭りなどの地域の祭り
 - 2 古川（古川せせらぎ河川公園、古川水鳥緑道など）
 - 3 安川緑道
 - 4 安の花田植などの伝統的行事
 - 5 西風新都（大塚地区、伴南地区）
 - 6 サンフレッチェ広島とエディオンスタジアム広島（広島広域公園陸上競技場）
 - 7 戸山地区などの安佐南区内の農地、森林
 - 8 広島菜、祇園パセリ、中筋しゅんぎくなどの農産物
 - 9 祇園地区、八木地区、緑井地区などの商業地区
 - 10 アストラムライン
 - 11 武田山、火山、窓ヶ山などの山
 - 12 安佐南区内の大学・短期大学
※ 大学：広島文化学園大学、安田女子大学、広島修道大学、広島経済大学、広島市立大学
※ 短期大学：広島文化学園短期大学、安田女子短期大学
 - 13 別所団地（佐東地区）、毘沙門台団地（安古市地区）、祇園ヶ丘団地（祇園地区）、大原台団地（沼田地区）などの安佐南区内の団地
 - 14 銀山城跡（県史跡）、阿刀神楽（県無形民俗文化財）、正伝寺のクロガネモチ（県天然記念物）などの安佐南区内の指定文化財

活用が望まれる安佐南区の地域資源 (アンケート結果)



★その他、活用が望まれる地域資源（自由回答として）

- ・災害に強いまちづくりを進めている地域とその住民組織
- ・活発な活動を展開している区内のボランティア、NPO団体
- ・FMハムスター
- ・イオンモール広島祇園
- ・区内の小中学校、医療機関、神社
- ・ヌマジ交通ミュージアム（広島市交通科学館）
- ・センナリ酢、川中醤油などの地元の産業

問2 安佐南区の身近な地域課題

2 皆様の身近な課題についてお教えてください。次の1~21の項目について、10年前（又は貴方が今の地域に住み始めた頃）と比較して、貴方が感じる傾向（「当てはまる」「やや当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」）の欄に「○」を御記入ください。

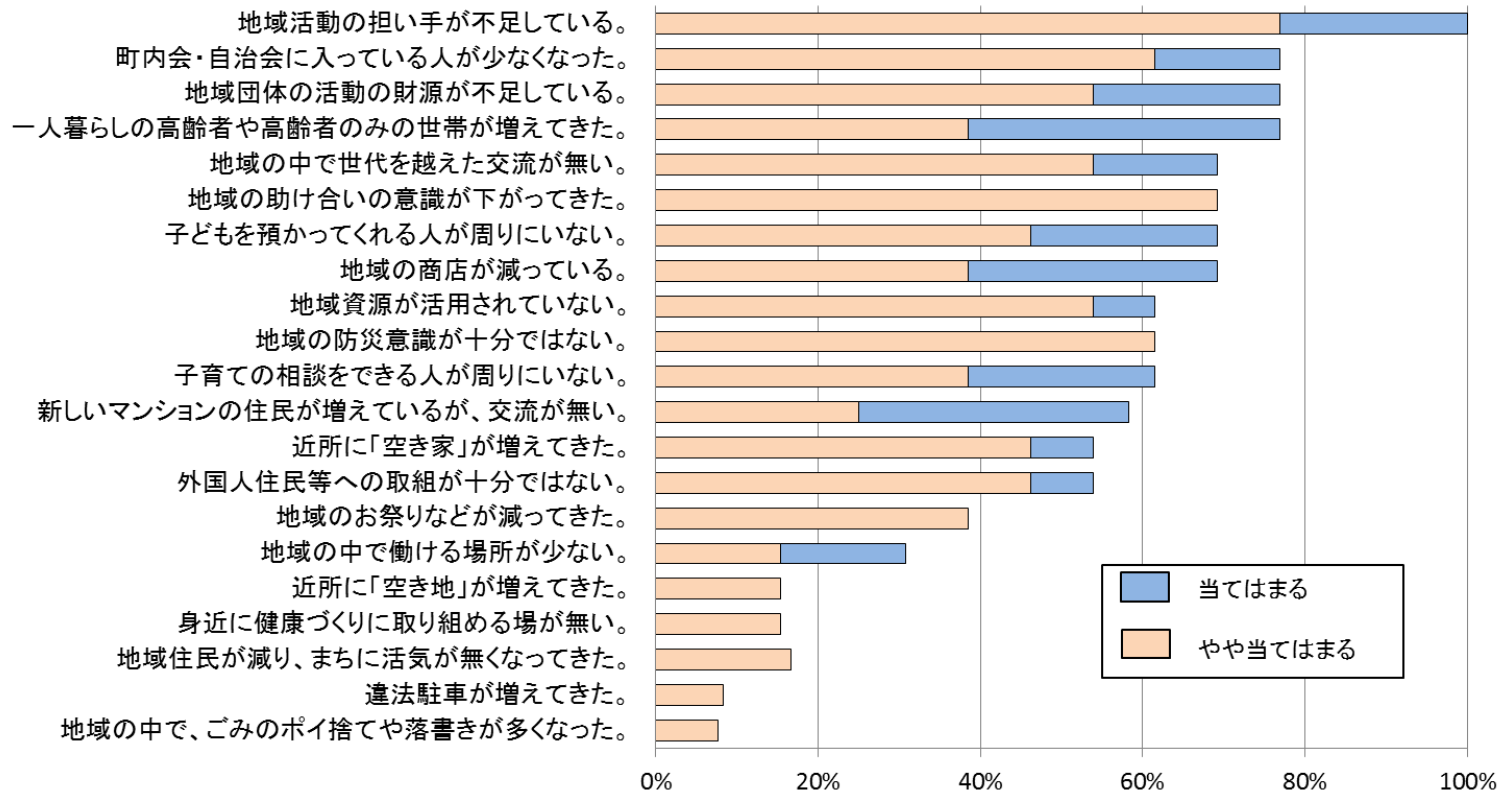
		当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1	地域住民が減り、まちに活気が無くなってきた。				
2	地域の中で、ごみのポイ捨てや落書きが多くなった。				
3	地域の商店が減っている。				
4	地域のお祭りなどが減ってきた。				
5	子どもを預かってくれる人が周りにいない。				
6	子育ての相談をできる人が周りにいない。				
7	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増えてきた。				
8	地域の防災意識が十分ではない。				
9	地域の助け合いの意識が下がってきた。				
10	地域活動の担い手が不足している。				
11	地域団体の活動の財源が不足している。				
12	地域資源が活用されていない。				
13	町内会・自治会に入っている人が少なくなった。				
14	地域の中で世代を越えた交流が無い。				
15	新しいマンションの住民が増えているが、交流が無い。				
16	地域の中で働ける場所が少ない。				
17	外国人住民等への取組が十分ではない。				
18	身近に健康づくりに取り組める場が無い。				
19	近所に「空き家」が増えてきた。				
20	近所に「空き地」が増えてきた。				
21	違法駐車が増えてきた。				

委員に配布した事前アンケート

(問2)

身近な地域課題 (アンケート結果)

- 「地域団体の担い手不足」「地域団体の活動資金不足」「地域の助け合いの意識低下」など、地域活動、地域団体について課題と感じる割合が高い。
- 「当てはまる」とした割合は、「一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加」(38%) 「新しいマンション住民との交流の無さ」(33%) 「地域の商店の減少」(31%) などが高い。



身近な地域課題

(アンケート結果)

★その他の意見（自由回答として）

- 「地域共生型社会」実現が声高になる一方で、地域の高齢化、相互の関係の希薄化などの課題に対する議論がされていない。
- 団体の維持、行事の継続には、リーダーの育成や時代に合った規約の改正が必要である。
- 役員等の負担感が強いいため、地域団体に入会する人が減少しており、次世代の担い手がいない。若い世代の育成が必要である。
- 美術館や博物館のような文化施設が無い。
- 地域の野良猫が減らない。
- 八木用水の改修が遅れている。